

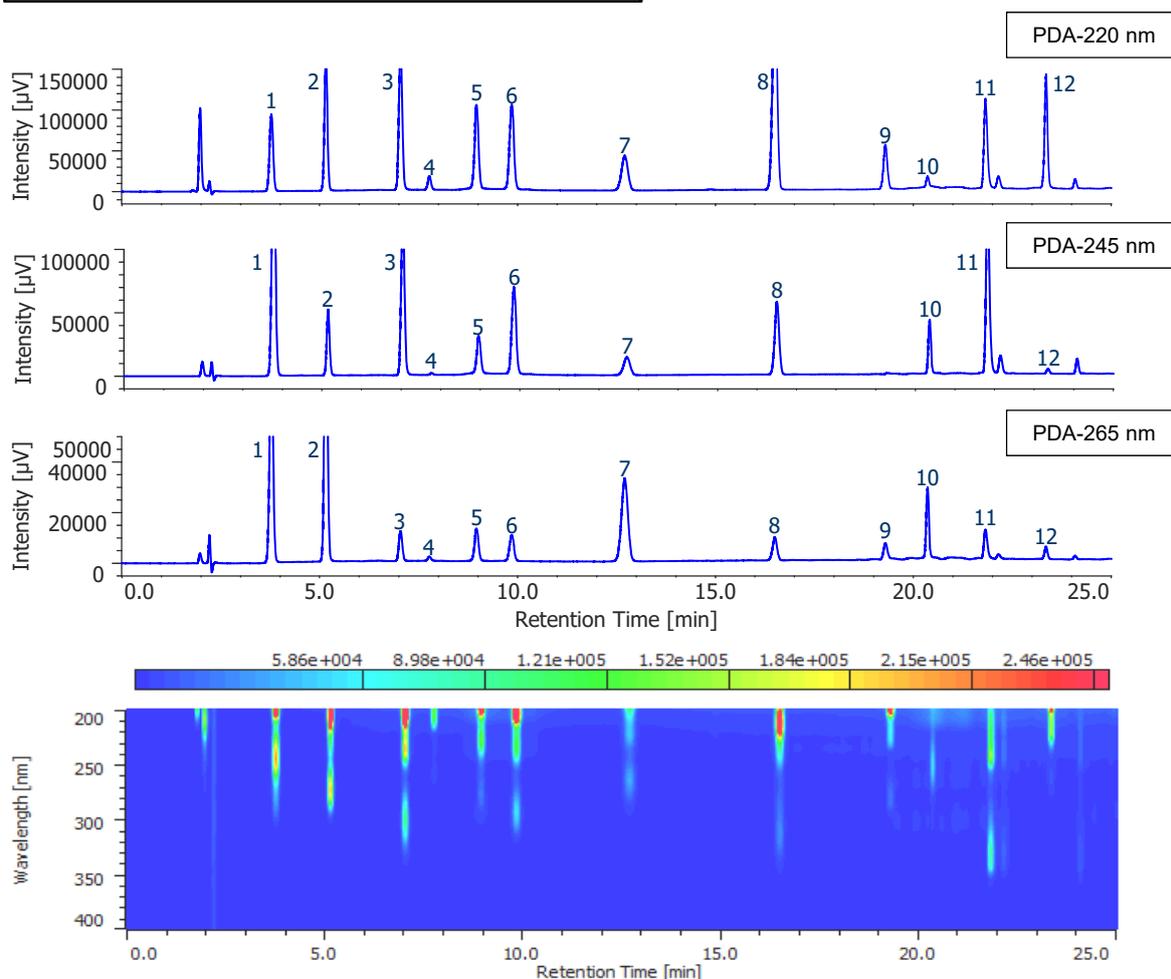
塩基性化合物の測定に適したWrapsil C18による 風邪薬成分の一斉分析

＜測定条件＞	
カラム	J-Pak Wrapsil C18 (4.6 mm I.D. × 150 mmL, 5 μm)
検出	PDA-200~400 nm
グラジエント溶出法	
移動相A	0.15 M 過塩素酸ナトリウム水溶液 (pH 2.5, 過塩素酸にて調製)
移動相B	アセトニトリル
流量	1.0 mL/min
カラム温度	40 °C
測定試料	12成分混合標準試料 市販風邪薬抽出液 3点

＜グラジエント条件＞

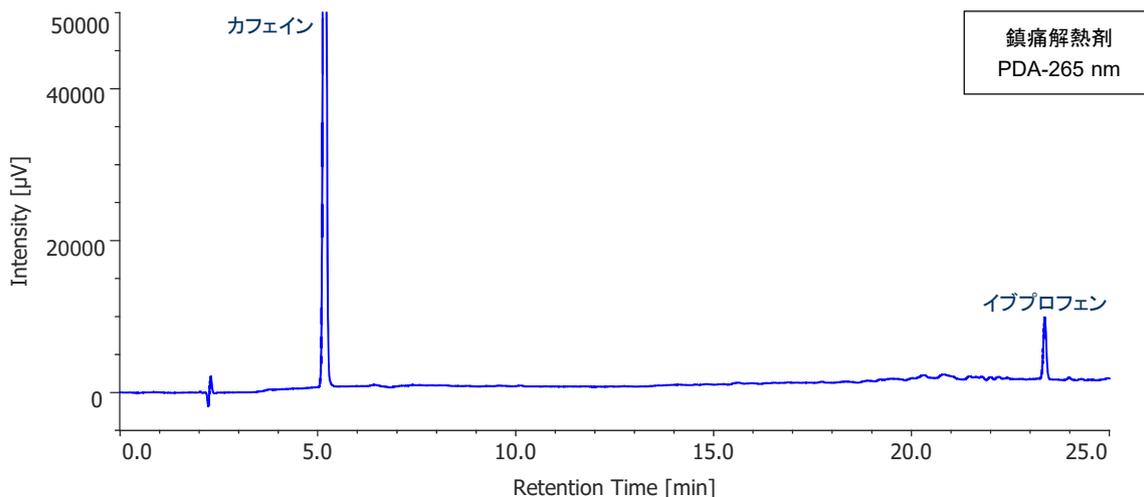
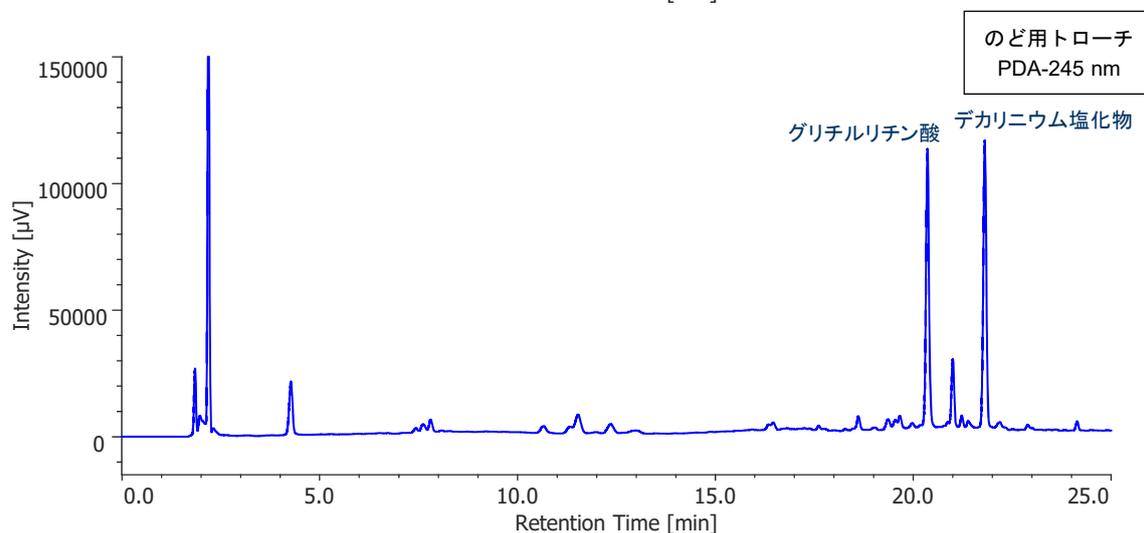
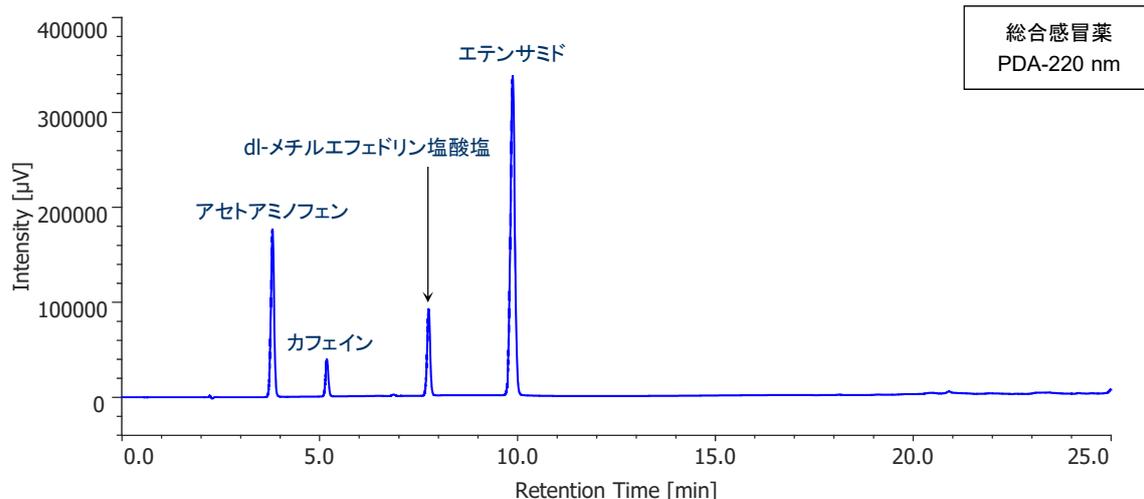
Time [min]	A (%)	B (%)
0.0	90	10
5.0	75	25
10.0	75	25
16.0	60	40
24.0	20	80
30.0	20	80
30.1	90	10

注入間隔 ; 45 min



1. アセトアミノフェン, 2. カフェイン, 3. サリチルアミド, 4. dl-メチルフェドリン塩酸塩,
5. アセチルサリチル酸, 6. エテンザミド, 7. クロルフェニラミンマレイン酸塩, 8. ノスカピン,
9. デキストロメトルファン, 10. グリチルリチン酸, 11. デカリニウム塩化物, 12. イブプロフェン

市販風邪薬抽出液の測定結果



Keyword ; 風邪薬成分, Wrapsil C18, C18カラム, PDA検出器, アセトアミノフェン, カフェイン, サリチルアミド, dl-メチルエフェドリン塩酸塩, アセチルサリチル酸, エテンザミド, クロルフェニラミンマレイン酸塩, ノスカピン, デキストロメトर्फアン, グリチルリチン酸, デカリニウム塩化物, イブプロフェン, 解熱鎮痛剤, のど用トローチ, 総合感冒薬